

2 用語解説

| No | 用語項目 (50 音順) | 解説 |
|----|-----------------|--|
| 1 | エイズ(AIDS) | 後天性免疫不全症候群 (Acquired Immune Deficiency Syndrome)。H I V (ヒト免疫不全ウイルス) に感染し、免疫機能が破壊されることによって抵抗力が低下し、健康な人ではかからないような病気を引き起こしている状態のこと。指標となる23の疾患 (カポジ肉腫、ニューモシスチス (カリニ) 肺炎等) を発症している点でH I V感染とは異なる。 |
| 2 | H I V感染者 | ヒト免疫不全ウイルス (Human Immunodeficiency Virus) に感染した人。主に性行為や血液により感染し、数年から十数年間という長い潜伏期間を経過した後、徐々に人の免疫機能を破壊する。H I Vに感染しても、早期に治療を開始することにより、エイズの発症を遅らせたり、症状を緩和させたりすることが可能になってきている。 |
| 3 | LGBTQ | レズビアン (女性同性愛者)、ゲイ (男性同性愛者)、バイセクシュアル (両性愛者)、トランスジェンダー (生まれた時の性別と自認する性別が一致しない人)、クエスチョニング (自分自身のセクシュアリティを決められない、分からない、又は決めない人) など性的少数者を表す総称の一つ。 |
| 4 | 学習指導要領 | 文部科学省が定める、各学校で教育課程 (カリキュラム) を編成する際の基準のこと。全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるよう、各教科などの目標や大まかな教育内容を定めるものであり、昭和33年以降、ほぼ10年ごとに改訂されている。 |
| 5 | G I G Aスクール構想 | G I G Aは Global and Innovation Gateway for All の略。1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育I C T環境を実現させる構想。 |
| 6 | 共生社会 | 障害を理由とする差別を解消し、障害者と障害者でない者とが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、地域の中で共に手を取り合って暮らすことのできる社会。 |
| 7 | 義務教育学校 | 小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う学校。 |
| 8 | ケアラー ヤングケアラー | 高齢、身体上、精神上的の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を行っている人。ケアラーの中でも、18歳未満の人はヤングケアラーという。 |
| 9 | 子育ての目安「3つのめばえ」 | 小学校入学までに子供たちに身に付けてほしいことを、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の視点から、本県が独自に取りまとめたもの。 |
| 10 | 埼玉県教育振興基本計画 | 埼玉県5か年計画や埼玉教育の振興に関する大綱、国の教育振興基本計画を踏まえながら、中長期的な視点に立って、5年間に取り組む本県教育の目標と施策の体系を示した計画。 |

| No | 用語項目 (50音順) | 解説 |
|----|-------------------------|---|
| 11 | 埼玉県版人権学習に係る質問紙 | 子供たちの人権感覚の育成状況を図る質問紙。「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」(平成20年3月)で示された人権教育を通して育てたい資質・能力である知識、価値、技能を評価の3観点とし、それぞれ9つの「人権感覚育成のための視点」を規準にした質問項目を設定している。観点や視点ごとに集計し、推移をグラフ化するなどすることで、人権感覚の育成状況を客観的に把握する資料となる。 |
| 12 | 彩の国の道徳 | 児童生徒の豊かな心を育むために、平成21年度に県独自の道徳教育教材資料集として作成したもの。全5種類で小学校版3種(低・中・高学年)、中学校版、高等学校版がある。家庭と学校が同じ視点に立ち、子供たちの豊かな心を育むために作成された、家庭用「彩の国の道徳」もある。 |
| 13 | 参加体験型学習 | 参加者が体験的な活動を組み入れた学習に主体的に取り組めるよう工夫された学習。座学中心、知識中心の学習ではなく、参加者が体験したり、他の人と関わったりしながら楽しく学習することにより、参加者の人権に対する意識の変容を目指す。手法例としては、シミュレーションのような疑似体験、ロールプレイのような役割演技のようなものやブレインストーミングのような討議でアイデアを出し合うものがある。 |
| 14 | 情報モラル教育 | 情報モラルとは、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度。具体的には、他者への影響を考え、人権、知的財産権など自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任をもつことや、危険回避など情報を正しく安全に利用できること、コンピュータなどの情報機器の使用による健康とのかかわりを理解することである。 情報モラル教育とは、情報モラルを身に付けさせる教育。 |
| 15 | 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) | 「COVID-19」という病気を引き起こす病原体の名称は「SARS-CoV-2」であるが、日本ではもっぱら病気の名前は「新型コロナウイルス感染症」、病原体の名称は「新型コロナウイルス」と呼ばれている。2019年12月に中国武漢市で発見され、全世界に感染拡大した。2022年1月までに世界で感染が確認された人は3億4千万人、死亡者558万人であり、以前のSARSやMERSとは伝播性と病原性において明らかに異なるウイルスであるといえる。 |
| 16 | 人権感覚 | 人権の価値やその重要性に鑑み、人権が擁護され、実現されている状態を感知して、これを望ましいものと感じ、反対に、これが侵害されている状態を感知して、それを許せないとするような、価値志向的な感覚。 |
| 17 | 人権感覚育成プログラム | 人権感覚を育むための参加体験型学習を組み入れた人権教育の学習プログラム。埼玉県教育委員会では、平成20年3月に「学校教育編」、平成21年3月に「社会教育編」、平成25年3月に「増補版(学校教育編)」、平成31年3月に「学校教育編(第2集)」を発刊した。 |

| No | 用語項目 (50音順) | 解説 |
|----|----------------------------|--|
| 18 | スクールソーシャルワーカー | いじめ、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境への働き掛けや、関係機関等との連携・調整を行う専門職。 |
| 19 | 性自認 | 自己の性をどのように認識しているのかを示す概念。ジェンダー・アイデンティティ (性同一性) ともいう。多くの人は、性自認と生物学的な性別や法的な性別が一致している。しかし、生物学的な性別や法的な性別に違和感をもつ人は、そのために心理的・社会的困難に直面しやすく、身体の手術を通じて性別の適合を望んだり法的な性別を変更することもある。 |
| 20 | 性的指向 | 人の恋愛・性愛がどういう対象に向かうのかを示す概念。具体的には、恋愛・性愛の対象が異性に向かう異性愛 (ヘテロセクシュアル)、同性に向かう同性愛 (ホモセクシュアル)、男女両方に向かう両性愛 (バイセクシュアル) を指す。 |
| 21 | 性的マイノリティ | 同性愛者・両性愛者・生まれたときの性別と自認する性別が一致しない人などのこと。性的少数者、セクシュアルマイノリティともいう。 |
| 22 | ソーシャルネットワークワーキングサービス (SNS) | 個人間の交流を支援するサービス (サイト)。参加者は共通の興味、知人等をもとに様々な交流を図ることができる。例えば、友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、「友人の友人」といったつながりを通じて新たな人間関係を構築したりする場を提供する。 |
| 23 | ソーシャルメディア | ブログ、ソーシャルネットワークワーキングサービス (SNS)、動画共有サイトなど、利用者が情報を発信し、形成していくメディア。 |
| 24 | SOGI | 性のあり方に関する要素のうち、性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった略称。性表現 (Gender Expression) を加えて「SOGIE」ということもある。 |
| 25 | 中等教育学校 | 一つの学校として、一体的に中高一貫教育を行う学校。 |
| 26 | ハンセン病 | らい菌による感染症で、感染力や発病力がとても弱く、日常生活で感染する可能性はほとんどない。今日では治療法が確立されている。 |
| 27 | フィールドワーク | 学習者が、課題に関するテーマをもって地域に出かけ、五感を働かせ、見たり、聞いたり、触れたり、調べたりといった活動を展開すること。 |
| 28 | 要配慮者 | 高齢者、障害者、難病患者、乳幼児、妊産婦、外国人など、災害時の避難行動や情報伝達、避難生活等に特に配慮が必要な人々。 |
| 29 | ロールプレイ | 学習の内容に応じた場面を設定し、学習者が役割 (話し手・聞き手・観察者等) を分担して演技することにより、様々な立場の人の意見や考えを理解し、多様な視点を育てることができる手法。 |